植物防疫情報第 13 号

令和３年３月 12 日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

モモせん孔細菌病の被害を抑えるために、春型枝病斑の切除と春季からの薬剤防除を徹底しましょう！

岡山県病害虫防除所が行った昨年８月の調査によると、モモせん孔細菌病の発生圃場率は71.4%（平年38.4%）と、過去10年で最も高くなりました。前年８月の発生圃場数が多いことから、生育期の天候によっては、本年の発生が多くなる可能性があります（平成25年　岡山県農業研究所　主要成果）。また近年、本病の重要な伝染源となる春型枝病斑の発生が確認されています（図１）。今作の被害を抑えるため、**春型枝病斑の切除等の耕種的防除と春季からの薬剤防除を組み合わせた総合的防除を徹底しましょう。**

１．防除対策及び防除上の参考事項

（１）本病原菌は、春型枝病斑（図２）や夏型枝病斑（図３）から雨滴及び風で飛散・伝染します。発病枝は、葉や果実への重要な伝染源となりますので、**見つけ次第、病斑部を残さないように健全部も含めて大きめに切除し、圃場外に持ち出す等適切に処分しましょう。**

（２）本病原菌は葉や果実の表面（気孔など）や傷口から侵入します。風当たりの強い圃場では防風ネット等で防風対策し、病原菌の飛散を防ぎましょう。

（３）５月以降、葉に発病が見られる圃場では、果実の感染防止のため、早めに袋かけを行いましょう。袋かけの時期に降雨が続くことが予想される場合には、降雨前に薬剤を散布し、薬剤が乾き次第袋かけを行いましょう。

（４）殺菌剤による防除は予防散布が基本です。多発してからでは効果が劣るので、下表を参考に**早期の防除**を心がけましょう。また、生育期には約10日間隔の定期的な防除を徹底しましょう。ただし、**予防効果の高いストレプトマイシンを含む剤の使用時期は「収穫60日前まで」、総使用回数は「２回以内」です。極早生種や早生種に使用する場合は使用時期に注意して散布が遅れないようにしましょう。また、ストレプトマイシンを含む剤は薬剤感受性の低下が起こりやすいため、可能な限り年１回までの使用としましょう。**

表　モモせん孔細菌病の主な防除薬剤　（Ｒ３．３．２現在）

散布時期	薬剤名	農薬使用基準			成分名	FRACコード注4）
		希釈倍数	時　期	回　数		
３月下旬頃（開花前）	カスミンボルドー	500倍	開花前まで	３回以内	カスガマイシン・銅	24・M1
	ICボルドー412	30～50倍	―注1）	―	銅	M1
	コサイド3000	1,000倍	開花前まで	―	銅	M1
	ムッシュボルドーDF	500倍	開花前まで	―	銅	M1
	キンセット水和剤80	1,000倍	収穫後～開花直前まで（但し、収穫60日前まで）	５回以内	銅・有機銅	M1
生育期	ストレプトマイシンを含む剤					
	ストマイ液剤20	1,000～2,000倍	収穫60日前まで	総使用回数２回以内	ストレプトマイシン	25
	アグレプト液剤、同水和剤	1,000～2,000倍			ストレプトマイシン	25
	ヒトマイシン液剤S	250～500倍			ストレプトマイシン	25
	マイシン20水和剤	1,000～2,000倍			ストレプトマイシン	25
	アグリマイシン-100注2）	1,500倍			オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン	41・25
	スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	３回以内	オキソリニック酸	31
	バリダシン液剤５	500倍	収穫7日前まで	４回以内	バリダマイシン	U18
	マイコシールド注2）	1,500～3,000倍	収穫21日前まで	５回以内	オキシテトラサイクリン	41
	マスタピース水和剤注3）	1,000～2,000倍	収穫前日まで	―	シュードモナス　ロデシア	未

注１）薬害を生じる恐れがあるので、開花後から８月末までは使用しない。
注２）アグリマイシン-100とマイコシールドは同じ有効成分（オキシテトラサイクリン）を含む。
　　オキシテトラサイクリンの総使用回数（５回以内）に注意して散布する。
注３）マスタピース水和剤は微生物殺菌剤であるため単用が望ましい。
注４）FRAC(https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/)による農薬有効成分の作用機構の分類。
　　同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達を回避するため、連用を避ける。

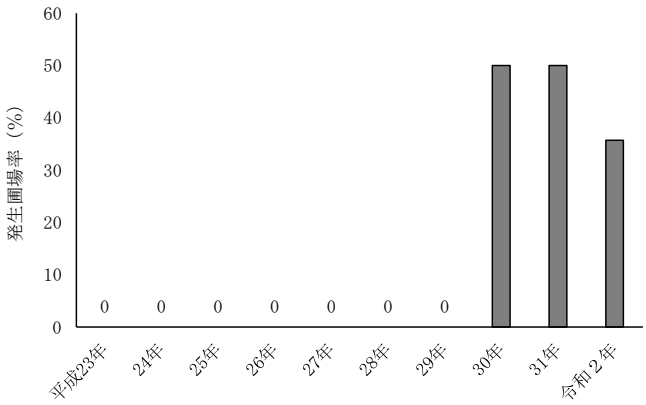

図１　岡山県内における４月下旬の春型枝病斑の発生推移
（岡山県病害虫防除所による巡回調査データ（７地点28圃場））

図２　春型枝病斑（囲み）
※１年生枝に開花期頃から紫褐色のへこんだ病斑を生じ、芽枯れを伴うことが多い。

図３　夏型枝病斑（囲み）
※新梢に芽の付近から紫黒色の病斑を生じる

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239　です。